

**クレバースカイシステムズ株式会社が、5G普及に向け
高性能ネットワーク診断・監視装置「TM2000シリーズ」を販売開始
—ランニングフィーなしで、導入障壁を大幅削減—**

クレバースカイシステムズ株式会社（代表取締役社長：手塚 啓一、本社：東京都杉並区）は既存製品であるネットワーク診断装置「TowerMonitor1000」に加え、新たに「ネットワーク診断・監視装置 TM2000 シリーズ」を開発し、他社にない低コストな導入方法で、本日12月11日より販売開始致します。

【TM2000 シリーズの概要】

ネットワークシステムは、今後5G（第5世代移動通信システム）の導入普及により、その利用範囲の拡大、我々の生活に於ける普遍性は益々大きくなるものと思われます。IoT分野、自動運転、遠隔医療、データマイニング、ネットワークをベースとしたAI等々が普及促進されるものと思われます。しかし、そのネットワーク構成機器の正常性監視、異常発生時の早期原因個所究明に関する機能・設備には、未だに脆弱な場合が多く、異常発生時には多大な損害を被る可能性があります。その防止のために、ネットワーク診断・監視システムがありますが、他社既存商品には、ソフトウェア商品が多く、その初期導入コストの高さ、ランニングフィー方式による累積費用負担が、特に、中小システムでの大きな導入障壁となっています。

クレバースカイシステムズ株式会社では、ネットワークのNCP（当社が提唱：Network Continuity Plan：ネットワーク運用継続性計画）を高めるため、平常時からNCPを周到に準備しておき、緊急時の運用継続・早期復旧を図ることが重要であると考えています。クレバースカイシステムズ株式会社は、今まで導入を躊躇されていた、中小システムにおいても、コスト負担が少なく容易に導入できる新製品「高性能ネットワーク診断・監視装置 TM2000 シリーズ」を販売開始いたします。

◆情報システム機器、IoT機器の監視

TM2000 シリーズは従来の情報システム機器（サーバ、PC、ルータ、スイッチ等）の監視だけでなく、IoTネットワーク機器（IoTゲートウェイ、コントローラ等）の監視まで可能にいたしました。これからの5Gへの移行を踏まえ、増大するIoT機器の診断・監視に対応します。

◆導入が容易

- ・他社製品と違い一括購入：毎年のランニングフィーが不要のため導入障壁が低い
- ・アプライアンス型システムのため導入が簡単：面倒なソフトのインストール不要

【TM2000 シリーズの特長】

① 高性能

IoT機器・情報システム機器をリアルタイムに最小1秒単位（通常1分単位）診断解析が可能

② 診断レベルで常時監視が可能

最大1,000台、10,000項目のIoT機器・情報システム機器を診断レベルで常時監視が可能

③ 発生頻度の低いトラブル解析が容易

1,000 台の情報収集を同一タイミングで収集するため、問題発生時刻の各機器情報を分析することで問題箇所を容易に特定できます

④ 直感的なデータ表示：MIB 情報を演算してビットレート表示、パケット廃棄検出が可能

MIB 情報を演算して表示・保存できるため、Byte/sec からビットレート表示が出来、また2つのMIB情報を比較演算できるためネットワークへの入口と出口でのバイト数を比較することでネットワーク内でのパケット廃棄などがリアルタイムに検出可能

⑤ 遅延時間監視

IP アドレスのみならず、URL による機器の死活確認、およびパケット遅延時間監視が可能

⑥ TM Viewer ソフトにより IoT 機器・情報システム機器のグラフ解析が、ビジュアルに容易に出来ます

⑦ ネットワーク診断装置は、小型・堅牢で可搬性に優れており、工事・保守業者に最適

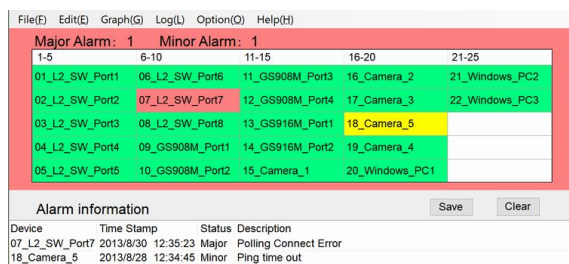
ネットワーク監視装置 TM2000s



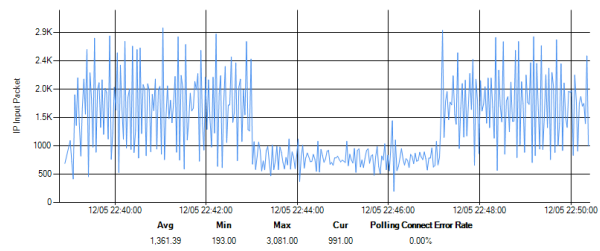
ネットワーク診断装置 TM2000



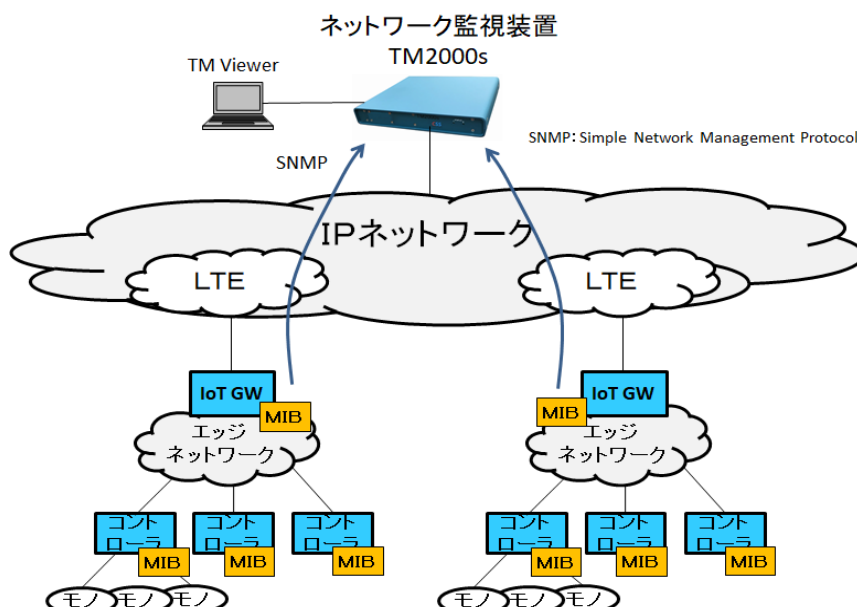
TM Viewer ダッシュボード



グラフ表示



【システム構成例】



【ネットワーク診断サービス】

またクレバースカイシステムズ株式会社では TM2000 シリーズを利用した IoT ネットワーク診断サービス、監視サービスも提供します。

◆ネットワーク回線診断

お客様の拠点において、TM1000 を設置し、ネットワーク上に流れるトラフィックを収集・分析し、利用状況や回線品質を診断します。また異常なトラフィックがないかについても確認します。

◆サーバ診断

サーバの負荷状況、再送発生状況などの診断を行いネットワーク上の問題がないか確認します。

【販売価格】

・機器定価

ネットワーク監視装置 TM2000s (64 台, 640 項目～) : 100 万円～

ネットワーク診断装置 TM2000 (64 台, 640 項目～) : 120 万円～

・年間ソフトライセンス費なし

・ハード保守費

故障修理 : センドバック実費修理 (保証期間内 1 年間無償、以降実費修理)

対応時間 : 平日 9:00-17:00

【販売目標】

販売目標は 3 年間で 100 ユーザです。

【クレバースカイシステムズ株式会社について】

ネットワークシステムの診断をキーとして、快適・継続的なネットワーク環境を維持 (NCP) するためのコンサルティングサービスを提供します。

- ・ネットワークシステムの診断コンサルティング・診断サービス
- ・ネットワーク診断・監視装置 TowerMonitor シリーズの開発・販売
- ・ネットワークシステム構築に係わる企画・設計・開発のコンサルティング
- ・ネットワークシステムの運用・管理の受託
- ・ネットワークシステムの保守サービス

【本件に関するお問い合わせ先】

クレバースカイシステムズ株式会社

本社 : 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南 3-48-11

電話 : 03-3393-0925

e-Mail : info@cleverskysystems.com

URL : <https://www.cleverskysystems.com/>

参考【TM2000 シリーズ機能一覧】

機能		TM2000/TM2000s
監視機器台数		最大 1,000 台 (MIB 監視 + ping 監視)
液晶ディスプレイ		TM2000: 液晶ディスプレイあり TM2000s: 液晶ディスプレイなし (TM Viewer から バーチャルデスクトップによる表示あり)
MIB 監視	監視台数	最大 1,000 台
	表示 MIB 数	最大 10,000 MIB
	表示方法	10 進表示、16 進表示
		生データ、前回との差分、移動平均、演算結果
閾値設定	閾値を越えた場合 軽度障害となる	
Ping 監視	監視台数	最大 1,000 台
	表示方法	指定した IP アドレスまでの往復遅延時間 (m 秒) 指定した URL までの往復遅延時間 (m 秒)
状態 監視	正常 (ディスプレイ: 白)	正常状態
	軽度障害 (ディスプレイ: 黄)	システムが定める軽度障害表示
	重度障害 (ディスプレイ: 赤)	システムが定める重度障害表示
監視周期		最小 1 秒
イベントログの表示		イベント情報をタイムスタンプを付けて表示・蓄積
警報メール通知		軽度障害/重度障害の内容をメールで通知
警報灯		警報灯を接続で、ランプ点灯、警報音出力
HOP 数調査		対象となる機器に対して HOP 数を調査
時刻同期		NTP による時刻同期
TM Viewer (GUI)	機器状態表示	機器ごとに正常、軽度障害、重度障害を表示
	アラーム・イベント情報	イベント情報、軽度障害、重度障害情報の表示
	グラフ表示	グラフ表示と合わせて Min.Max.Ave.Crrent 値を表示
	Log 保存	CSV ファイルによる各種 Log 保存機能
	Config 設定	過去の Config を保存し、再設定可能

参考【TM2000 シリーズ仕様一覧】

項目	仕様
CPU	Intel Apollo Lake E3930, 1.3 GHz, up to 1.8 GHz
メモリ	RAM 4GB、SSD 128GB
OS	Linux (Ubuntu)
液晶表示	8.4 型 TFT-LCD 液晶タッチパネル ※TM2000s は液晶表示なし
インターフェース	RJ45 GbEx2/USB3.0x2/HDMI/DP/COM
電源	100V-240V、50/60Hz
消費電力	25W
実装	高さ 3.5cm／幅 23.0cm／奥行 20.0cm
重量	1.6Kg
環境仕様	動作温度 0～45° C
	動作湿度 25～85% (結露なきこと)
	保存温度-10～70° C